



日本慢性期医療協会

定例記者会見

日時：令和7年4月24日（木） 16:30

場所：Web会議システム「Zoom」



日本慢性期医療協会

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

メディカル ケアプランナーの必要性 ～医療介護の一体化ケアプランニング～

- ・目的 : ケアプランは、生活支援と機能改善の両面で作成
- ・プロセス : 医療機関によるケアプランニング機能の付加
- ・アウトカム : 利用者の機能改善と事業所の加算算定率向上

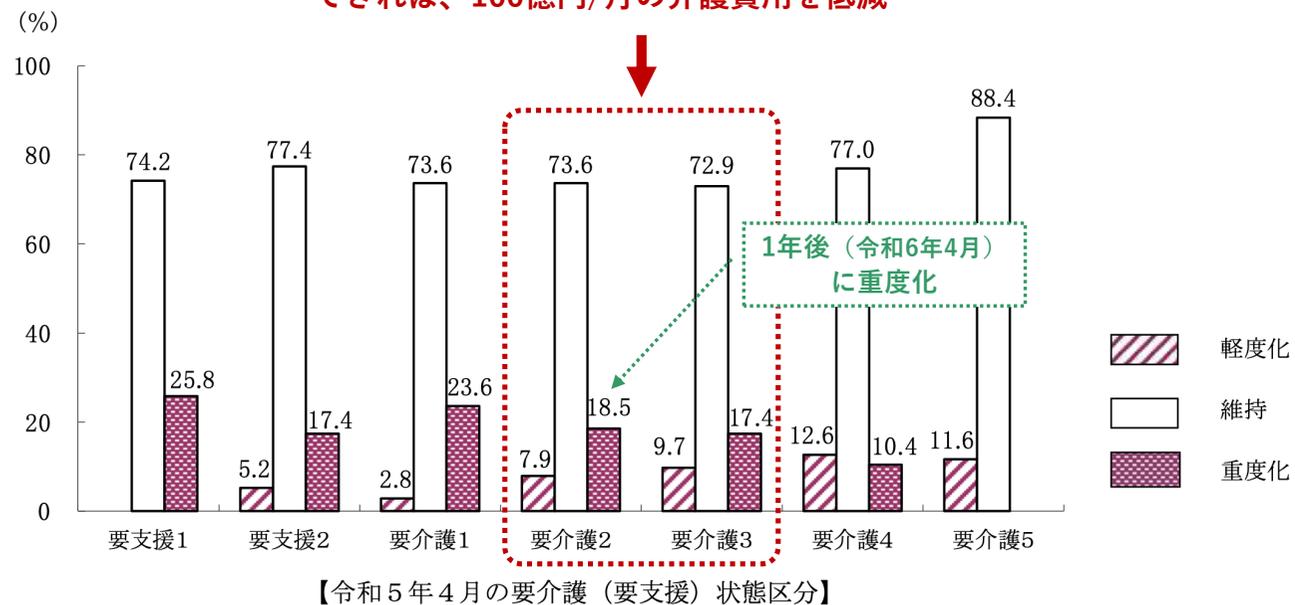
寝たきりゼロへの重度化防止

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

寝たきりゼロへの方策は「作らず・改善させ・悪化させない」。
悪化させない重度化防止だけでも、自立を促し介護費用も低減できる。

重度化防止による介護費用改善効果

要介護2、3の重度化を50%抑制(18.5%→9.3%)
できれば、100億円/月の介護費用を低減*



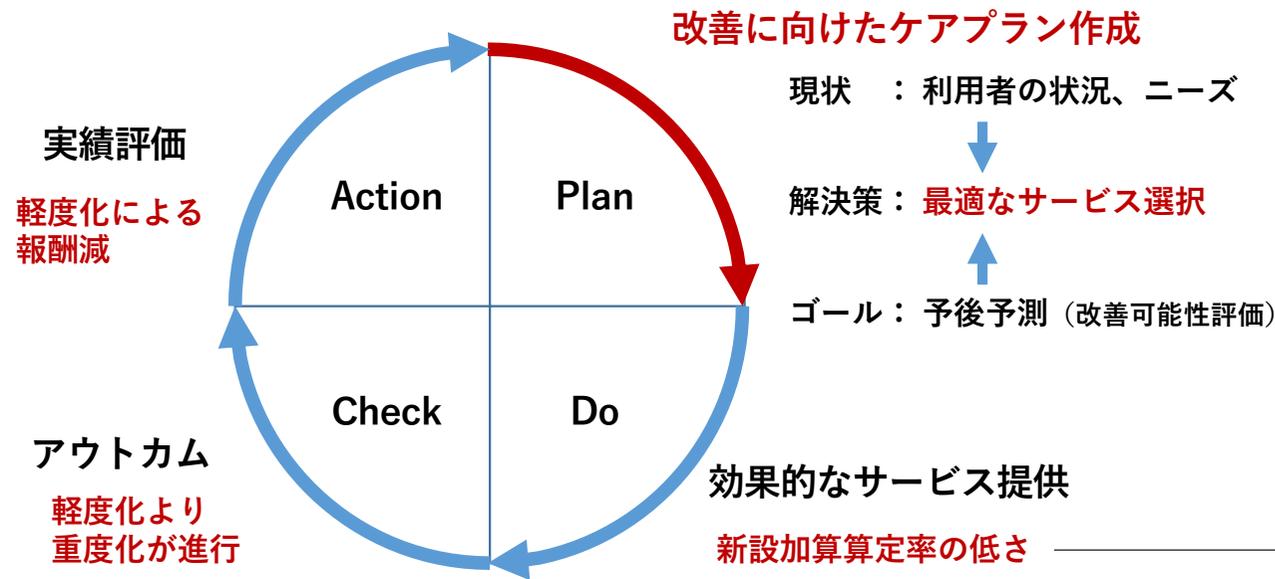
*日本慢性期医療協会「令和7年1月9日記者会見」

ケアマネジメントの課題

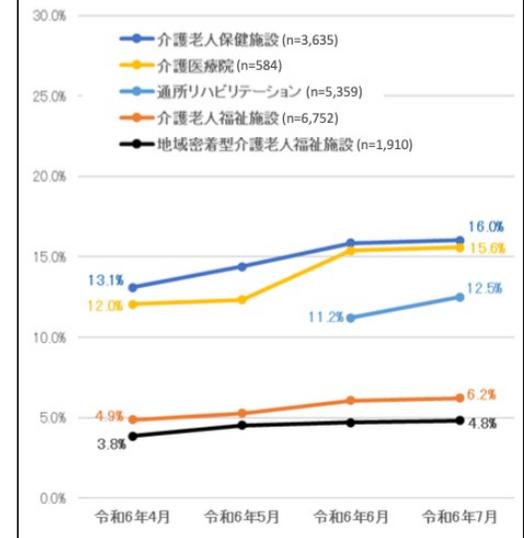
JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

ケアマネジメントごとに課題があるが、スタートは機能改善へのケアプラン。それには改善可能性の見極めと提供サービスへの知識が必要となる。

ケアマネジメントの課題



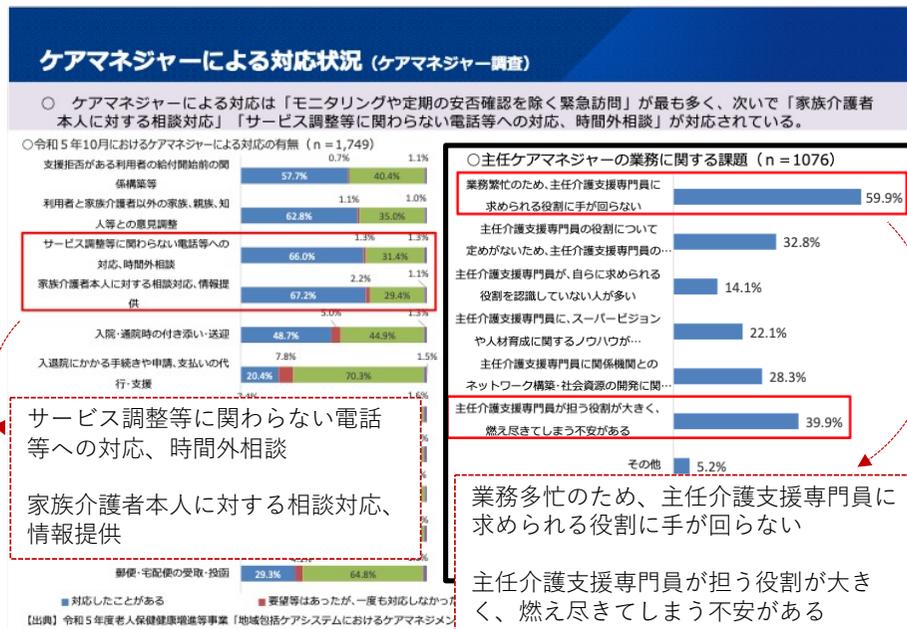
図表18: 一体的取組に係る加算の算定状況 (事業所単位)



ケアマネジャーの業務課題

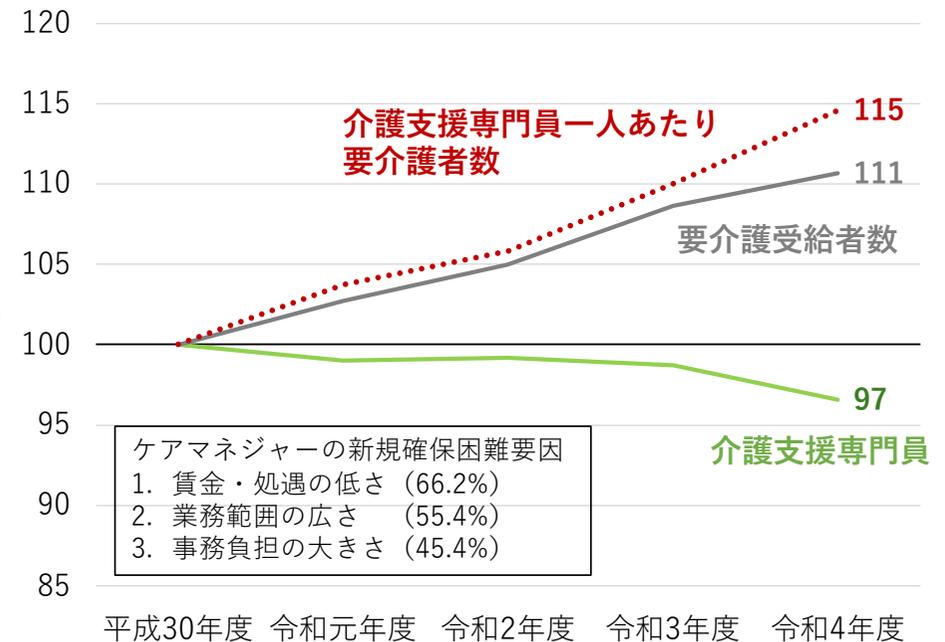
ケアプランは、ケアマネジャー（介護支援専門員）が作成する。しかし、現状の業務負荷からそこへの注力は困難な状況。

ケアマネジャーの業務状況



ケアマネジャーと要介護者数の推移

(平成30年を100とした場合)



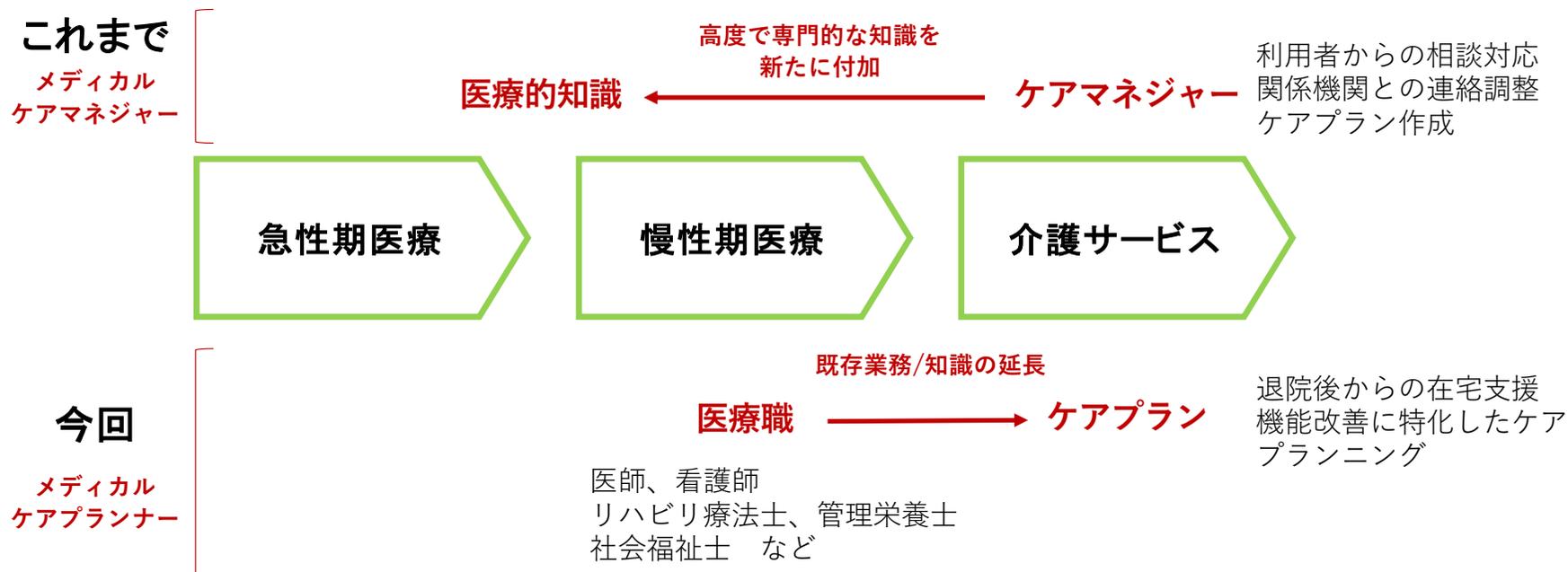
出所：厚生労働省老健局 ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会「ケアマネジメントに係る現状・課題」

メディカルケアマネジャー

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

日慢協では、医療知識を備えたメディカルケアマネジャー育成を提言してきたが、医療職がケアプランを作成する方向も有効なはず。

メディカルケアマネジャー二つの方向性

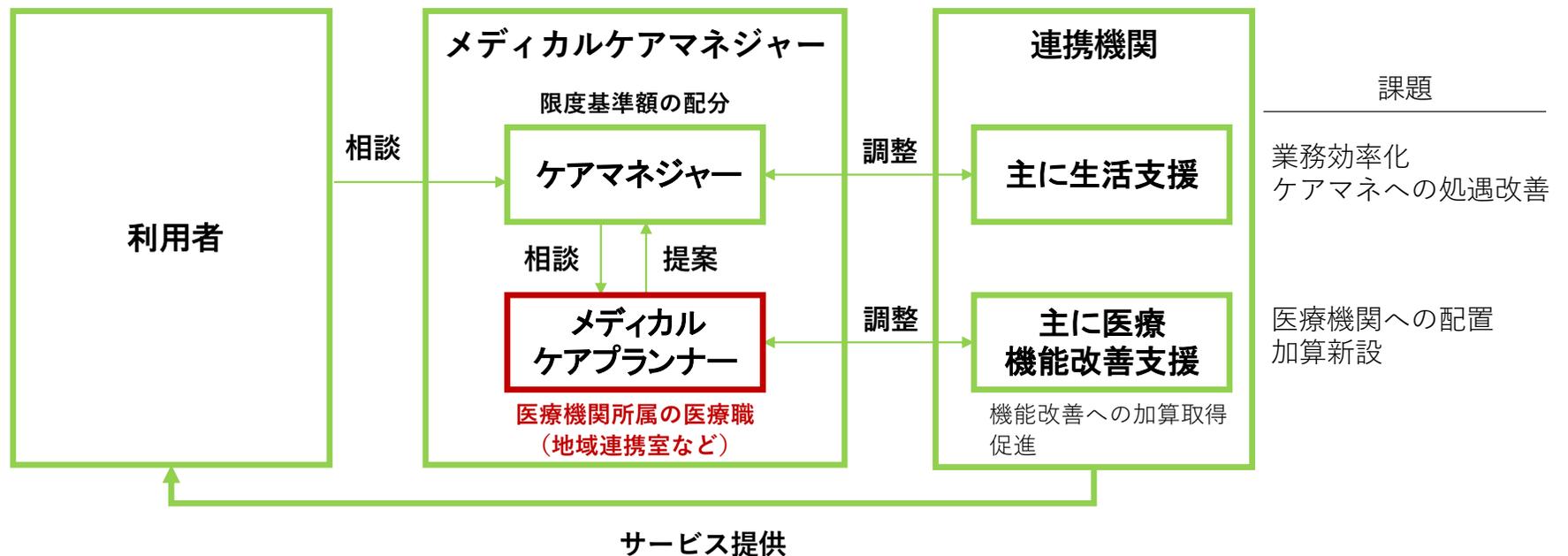


ケアプランニングの役割分担

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

ケアサービスの提供は、生活支援と機能改善の両面でのプランニングが求められる。医療と介護の両視点を一体化した最適な体制を整える。

医療介護一体型のケアプランニング



ケアプランニングをデザインする

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

寝たきりゼロへのケアマネジメントを機能させる。医療介護を一体化した最適プラン提案のため、メディカルケアプランナーが必要。

最適なケアを届けるために

ポイント	要介護度改善加算の創設	医療介護一体化ケアプラン
目的 明確化	(介護職員が減少するなかでも) 介護の質を保つ	生活支援と機能改善の両面で 利用者を支える
プロセス 実践方法の確立	・ 介護職の確保「量も質のうち」 ・ 介護職の育成 「リハビリテーション介護士」 ・ 要介護度改善を評価する仕組み	・ ケアマネジャーへ医療知識を 付加 (メディカルケアマネジャー) ・ 医療機関にケアプランニング機能を 付加 (メディカルケアプランナー) ・ 上記にかかる加算の新設
アウトカム 指標設定/測定	要介護者の減少、 要介護度改善率の向上	利用者の機能改善 事業所の加算算定率向上

日本慢性期医療協会
「令和7年1月9日記者会見」



良質な慢性期医療がなければ

日本の医療は成り立たない

～今こそ、寝たきりゼロ作戦を！～



日本慢性期医療協会

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES